

## ご 挨拶

昭和 59 年 10 月に三鷹市中原で産声を上げ、平成 6 年 1 月には調布市西つつじヶ丘に移転して、今日まで続けた佐藤小児科医院ですが、平成 27 年 3 月 20 日で閉院することに致しました。

その間、どこのご家庭にも起こりうる、病気、入院、経済危機、両親の他界、子供の問題・・・などがありましたが、素敵な患者さんのご家族に支えられ、優しく一生懸命なスタッフに支えられ、大過なく約 30 年間という月日を重ねてこられたことに心から感謝いたします。

ご来院のほとんどすべての患者さんには、詳細な問診票と、その後の経過表を漏らすことなく書いていただけたことに感謝と敬意の意を改めて表します。病気の経過が手に取るようにわかる問診票を書けることは、病気を治療につなげる第一歩になります。そして治療開始後の経過表をわかり易く書き留めていくことは無事に治癒にたどり着く第一歩になります。どうぞこれまで培われた実力を保ち続けて下さい。

何事も効率化一番を目指し始めた社会の流れで、多くの子供たちが、何かと急がされ、幼い時から長時間の集団生活を強いられている現状に危惧の念を抱いています。子供たちは病気の時でも、体が疲れてつらい時でも両親の都合のために頑張っ  
て集団生活をしているなあと思うこともよくあります。ご自分のお子さんはもちろんのこと社会の子供たちにとって、本当の意味での幸せ・豊かさは何かと、お父さんお母さんは自分の心にいつも問い続け行動に移してほしいと願っています。

お家の中には誰かがいて、街の中にも誰かがいて、公園にも誰かがいて、いつでもどこでも子供たちが困っていたら、大人たちがさっと手を差し伸べる、「大丈夫だよ」と言ってあげられる人が少なすぎです。私はこれまで以上にそうした街の人になっていこうと思います。医院はなくなりますが、ここ住んでおりますので、どうぞお気軽にお寄りください。

**いつでもお待ちしております！！**

